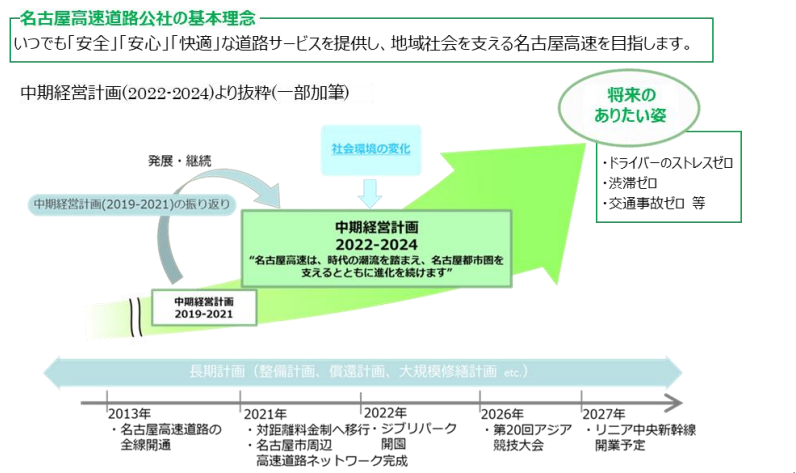


- ▶ 名古屋高速道路公社では、お客様に出発地から目的地まで快適にドライブしていただけるよう、道路交通情報提供※（以下、「情報提供」という）のあり方を総合的に検討することとしました。（「[中期経営計画 2022-2024](#)」(P.21より)）
- ▶ 今回、情報提供における目標を設定するとともに、情報提供を取り巻く環境の変化や強化・向上を図る事項を整理し、「**今後の情報提供のあり方**」をとりまとめました。
- ▶ 今後は、この情報提供のあり方を基に具体的な検討を進め、**お客様に「伝わる」最適な情報提供を目指してまいります。**

※「道路交通情報提供」とは、道路情報板等により、交通事故や渋滞など、道路の交通状況変化に関する情報を提供することを指します。

## ① 情報提供における目標設定

- ◆ 情報提供のあり方を検討する上で、前提となる目標を設定しました。
- ▶ 名古屋高速道路公社は、基本理念を具現化し、中期経営計画(2022-2024)に掲げた将来のありたい姿を実現するため、ハード・ソフトの両面で各施策を行っています。  
ソフト施策である情報提供においては、**既存の情報提供の精査を含め、よりわかりやすく、お客様に「伝わる」最適な情報提供を図ること**により、将来のありたい姿の実現に向け、その一翼を担っていきます。



## ③ 強化・向上を図る事項

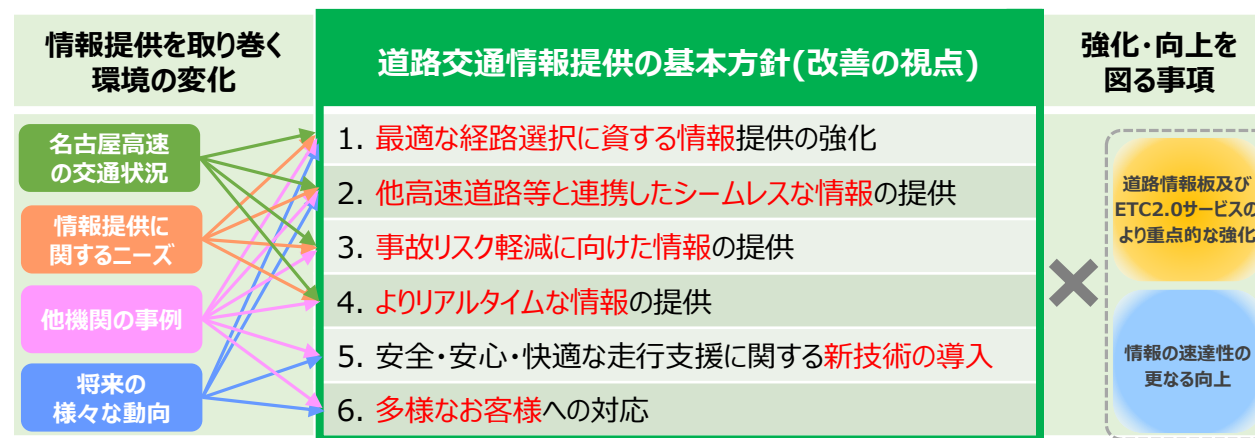
- ◆ お客様の「安全」「安心」「快適」な走行に資する情報提供を行うために、強化・向上を図る事項を整理しました。
- ▶ **強化を図る事項**  
⇒ これまで整備を進めてきた**道路情報板やETC2.0サービスにおいて、より重点的な強化を図ります。**特に、**全てのお客様が見ることのできる道路情報板での情報提供を重視**します。
- ▶ **向上を図る事項**  
⇒ **提供する情報は速達性が重要**となることから、**速達性の更なる向上を図ります。**

## ② 情報提供を取り巻く環境の変化

- ◆ 近年の交通状況や情報提供に関するニーズなど、情報提供を取り巻く様々な環境の変化を整理しました。
- ▶ **名古屋高速道路の交通状況**  
● 路線毎の交通量の偏り(大高線>東海線)や、特定箇所において渋滞や事故が多発している状況  
⇒ 渋滞・事故多発箇所に対応した**更なる情報の充実**が必要となっています。
- ▶ **情報提供に関するニーズ**  
● 各種情報提供媒体の活用状況やお客様ニーズなどから、情報提供に関するニーズを把握  
⇒ 渋滞や事故、所要時間に関する**きめの細かい情報**が求められています。
- ▶ **情報提供に関する他機関の事例**  
● 他機関では、渋滞状況の表示方法の工夫や、注意喚起情報といった情報提供に関する改善、新たな技術を用いた情報収集を実施  
⇒ 渋滞や事故の情報提供に関して、**参考となる先行事例**があります。
- ▶ **名古屋高速道路を取り巻く将来の様々な動向**  
● 将来道路ネットワークの変化(都心アクセス関連事業等)や、大規模イベント・計画(リニア中央新幹線の開業、アジア競技大会の開催等)  
⇒ **人流・物流の大きな変化**や**お客様の多様化の加速**が想定されます。  
● 全国規模での将来構想(自動運転、道路データのオープン化等)や技術の進展  
⇒ **新たな施策・新たな技術への対応**が必要となります。

## 【今後の道路交通情報提供のあり方】

- ◆ 情報提供を取り巻く環境の変化を踏まえ、6項目の「基本方針(改善の視点)」を設定しました。今後は、この基本方針と強化・向上を図る事項とを組み合わせることで、お客様に「伝わる」最適な情報提供を目指します。



より安全・安心・快適に名古屋高速道路を走行していただくために、  
**わかりやすさを重視し、お客様に「伝わる」最適な道路交通情報の提供を目指します**